

基本方針



森の多面的機能を高める“環境の森づくり”を進めます

森の価値を高め、持続的に利活用します

森の魅力を高め、伝えていきます

みんなで森づくりを進めます

森の多面的機能の向上を図る“環境の森づくり”

森の特長をさらに活かす“類型別森づくり”

豊かな「森の恵み」を享受するために、森の特性や利活用に応じた機能を高めつつ、他の多面的機能の向上も図る“環境の森づくり”を基本として森づくりを進めます。さらに、右のような森の類型別に、特長的な機能を高め、活用するための“類型別森づくり”を進めていきます。

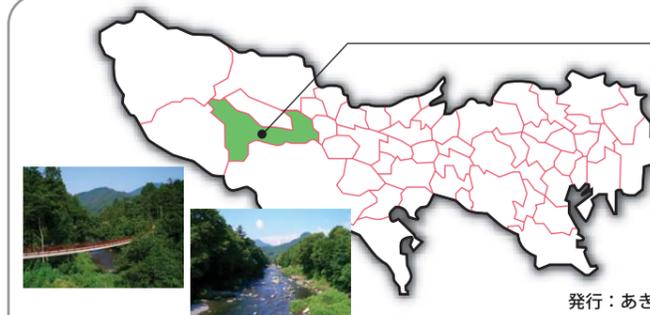
●森の多面的機能とは？

木材生産機能をはじめ、湯水や洪水を緩和し良質な水を育む水源かん養機能、様々な生物のすみかとして命を育む生物多様性保全機能、土砂災害防止や二酸化炭素吸収機能など、森が持つ多様な機能のこと。

清流の森	豊かな緑と水に恵まれた森。水源かん養や様々な動植物のすみかとしての機能が強く、将来に守りたい環境が存在する森
経済の森	スギ・ヒノキの人工林など、経済林として木材生産やきのこの林産物が生産される森
郷土教育の森	人々の暮らしと結びつきが深かった里山。炭焼きや落ち葉かきなど、「森の恵み」を暮らしに活かす知恵や技を伝えられる森
歴史文化の森	歴史ある寺院や地域に根ざした神社、鎮守の杜、文化財、城跡、古い街道などの資源が多く存在する森。昔話などが残る森
健康の森	散歩やハイキング、登山など、健康づくりやレクリエーション、趣味、スポーツなどに利用できる森
観光の森	キャンプ場などのレジャー施設、花の名所や自然景観などの見どころがある森。観光施設などが充実し、観光客が訪れやすい森

これから始めること

- 1 市民と協働の森づくりを進めます
 - 森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野を組織します
 - 郷土の恵みの森づくり事業基金をつくり、充実します
- 2 国や都、他自治体などとの連携による森づくりを進めます
 - 国、都、他自治体との連携を強化します
 - 多摩の森でつながる近隣自治体と連携した取組を進めます
- 3 まず、できるところから始めます
 - 地域の皆さんと森づくりにつながる古道の再生や景観整備などを行います
 - 市域全体の森づくりの方向を示す基本計画をつくります
- 4 「楽しみながら」できる森づくりを進めます
 - 森の宝（地域資源）を活かし、植樹や古道再生、化石発掘など、楽しみながらできる森づくりを進めます
- 5 「あきる野だからこそ」できる森づくりを進めます
 - 多様な森、都心部に近い立地、全国有数の“地質・地形の宝庫”などの強みを最大限に活かし、あきる野版ジオパークにも取り組みます



●あきる野までのアクセス

🚆 電車をご利用の場合
新宿駅から中央線に乗り換え立川駅で青梅・五日市線に乗り換え、拝島経由で秋川駅（あきる野市役所最寄り）

🚗 車をご利用の場合
圏央道あきる野I.C（最寄り）

発行：あきる野市 環境経済部 環境の森推進室
〒197-0814 東京都あきる野市二宮350 TEL (042) 558-1111(内線2551・2552) FAX (042) 558-1119



あきる野市 郷土の恵みの森構想

豊かな森と活力あるまちを
将来の世代に—

協働で進める郷土の森づくり

きれいな空気、おいしい水、豊かな恵みをもたらす森はみんなの“共通の財産”です。この財産を未来に引き継ぐため、皆さんとの協働による森づくり、地域づくりを進めます。森にかかわる皆さんの“森への思い”や“夢”が詰まった『郷土の恵みの森構想』を通じて、「郷土愛」・「自然愛」を育み、「環境都市あきる野」への第一歩を踏み出します。

